

市の財政



平成 27 年 6 月



目 次

I	平成26年度下半期における予算の執行状況	1
II	市民負担の状況	3
III	財産、市債及び一時借入金の現在高	4
IV	企業会計の下半期の業務状況	6
V	平成27年度当初予算の概要	9

※数値については、百万円単位で整理してあります。

表示単位未満を四捨五入してあるので割合・一人あたりの金額・合計等が一致しない場合があります。

「千葉市財政状況の公表に関する条例」に基づき、市の財政状況について公表します。

I 平成26年度下半期における予算の執行状況

平成27年3月31日現在

一 般 会 計

平成26年度の歳入歳出予算は、当初3,753億円で、前回（12月）公表時点では、3,938億39百万円でしたが、その後11月、12月及び2月に補正を行い、106億56百万円を増額しましたので、最終予算現額は、4,044億95百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で2,066億91百万円、累計額で3,521億29百万円となり、一方、支出総額で1,267億44百万円、累計額で2,691億21百万円となっています。

特 別 会 計

企業会計を除く14の特別会計の総予算は、当初3,390億47百万円で、前回（12月）公表時点では、3,505億14百万円でしたが、その後12月及び2月に国民健康保険事業特別会計他で補正を行い、総額4億32百万円を増額しましたので、最終予算現額は、3,509億47百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,261億11百万円、累計で2,251億60百万円となり、一方、支出総額で1,567億89百万円、累計で2,981億90百万円となっています。

一般会計と特別会計の平成27年3月31日現在の予算執行状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

区分 會計名		予 算 現 額					歳 入		歳 出	
		当初予算額	補正予算額 （上期）	補正予算額 （下期）	繰越事業 繰越額	計	収入済額 （累計）	収入割合 （累計）	支出済額 （累計）	支出割合 （累計）
一 般 会 計		375,300	4,318	10,656	14,221	404,495	352,129	87.1 %	269,121	66.5 %
特 別 会 計	国民健康 保険事業	96,217	10,107	772	—	107,096	81,465	76.1	98,501	92.0
	介護保険 事業	58,037	1,353	10	—	59,399	48,454	81.6	51,921	87.4
	後期高齢者 医療事業	8,875	—	—	—	8,875	8,395	94.6	7,067	79.6
	母子父子寡婦 福祉資金貸付	305	2	—	—	307	303	98.7	299	97.4
	霊園事業	806	—	—	—	806	503	62.4	715	88.7
	農業集落 排水事業	489	—	—	—	489	54	11.0	95	19.4
	競輪事業	12,785	—	—	—	12,785	11,746	91.9	11,297	88.4
	地方卸売 市場事業	1,168	—	—	—	1,168	696	59.6	639	54.7
	都市計画土地 区画整理事業	522	—	—	6	528	48	9.1	159	30.1
	市街地 再開発事業	1,456	—	—	—	1,456	60	4.1	159	10.9
	動物公園 事業	1,159	—	—	—	1,159	250	21.6	720	62.1
	公共用地 取得事業	657	—	—	—	657	0	—	0	—
	学校給食 センター事業	2,508	—	—	—	2,508	1,248	49.8	1,921	76.6
	公債管理	154,063	—	△ 350	—	153,713	71,939	46.8	124,696	81.1
小 計	339,047	11,461	432	6	350,947	225,160	64.2	298,190	85.0	
合 計		714,347	15,779	11,088	14,227	755,441	577,289	76.4	567,311	75.1

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので合計欄及び割合が一致しない場合があります。

今期中の補正予算の主な内容は次のとおりです。

専 決 処 分 （ 11 月 ）

一 般 会 計	2億50百万円	
衆 議 院 議 員 選 挙 経 費	2億50百万円	平成26年12月14日執行分

12 月 補 正 予 算

一 般 会 計	38億56百万円	
教 育 施 設 整 備	29億20百万円	老朽化対策、屋内運動場の耐震補強他
障 害 者 総 合 支 援	7億 8百万円	障害福祉サービスに係る給付費の増他
道 路 整 備 （ 債 務 負 担 行 為 ）	(2億40百万円)	平成27年度実施予定工事の一部前倒し
特 別 会 計	26百万円	
国 民 健 康 保 険 事 業	17百万円	保険料還付金の増

2 月 補 正 予 算

一 般 会 計	65億50百万円	
積 立 金	27億55百万円	財政調整基金等への積立
消費喚起のための商品券の発行	12億円	地域経済活性化商品券他
国 ・ 県 事 業 負 担 金	7億37百万円	国道357号、千葉港整備事業負担金他
教育施設整備（債務負担行為）	(1億37百万円)	花見川第一小学校校舎解体他
特 別 会 計	6億17百万円	
国 民 健 康 保 険 事 業	7億55百万円	国庫負担金等超過交付額の返還
下 水 道 事 業	2億11百万円	管渠耐震化工事、マンホールトイレ工事
公 債 管 理	△3億50百万円	市債償還利子の利率確定に伴う利子の減

一般会計	地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。
特別会計	特定の目的のために設けられた会計をいいます。千葉市では国民健康保険事業ほか13の会計が条例で設置されています。 また、病院事業、下水道事業、水道事業は企業会計と呼び、地方公営企業法に基づき、独立採算を原則として設置された特別会計で、他の特別会計とは区別しています。
補正予算	予算の編成後に生じた理由によって、既定予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立した予算をいいます。

Ⅱ 市 民 負 担 の 状 況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の約5割を占めています。

平成27年3月末の予算額でみますと、市税の予算額は、1,724億70百万円（滞納繰越分と国有資産等所在市町村交付金及び納付金を除く。）となっていますので、これを平成27年3月末の人口（962,554人）及び世帯数（435,971世帯）で割りますと、市民1人あたり179,180円、1世帯あたり395,600円の負担となっています。

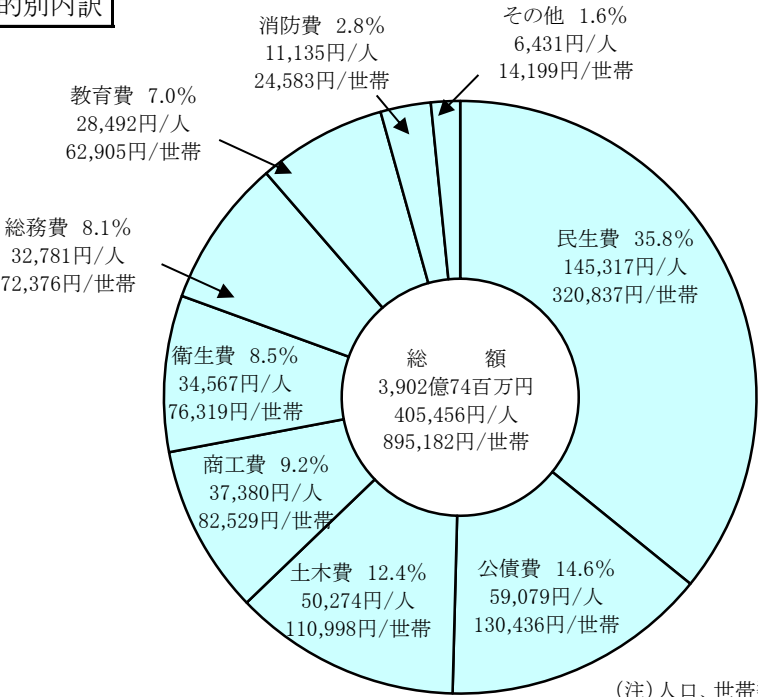
また、市民のために使われる経費（これを行政経費といいます。ただし、歳出予算現額から繰越額を除く。）は、市民1人あたり405,456円、1世帯あたり895,182円となっています。

なお、行政経費と市税負担額の差額は、市債や国庫支出金等市税以外の歳入で対応しています。

市民1人あたりの市税負担額・・・・・・・・・・	179,180 円	うち市民税	86,606 円
		うち固定資産税	66,126 円
		その他	26,448 円
1世帯あたりの市税負担額・・・・・・・・・・	395,600 円	うち市民税	191,212 円
		うち固定資産税	145,997 円
		その他	58,391 円

市民1人あたりの行政経費・・・・・・・・・・	405,456 円
1世帯あたりの行政経費・・・・・・・・・・	895,182 円

行政経費の目的別内訳



(注)人口、世帯数は住民基本台帳登録による。

Ⅲ 財産、市債及び一時借入金の現在高

平成27年3月31日現在

財産の現在高

公有財産

公有財産とは、市が所有している土地、建物、有価証券、出資による権利などの財産をいいますが、使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などのような公用、または学校、公営住宅、公園などの公共用に利用される財産をいいます。）と、普通財産（行政財産以外の市の財産をいいます。）とに区分されます。企業会計を除く公有財産の現在高は次のとおりです。

区 分			土 地	建物	船 舶	航 空 機	有 価 証 券	出 資 に よ る 権 利
公 有 財 産	行 政 財 産	公 用	㎡ 1,249,079.54	㎡ 255,874.48	隻 1	機 2	百万円 —	百万円 —
		公 共 用	13,880,634.40	2,310,706.26	—	—	—	—
		計	15,129,713.94	2,566,580.74	1	2	—	—
	普 通 財 産		698,194.00	67,357.58	—	—	1,199	2,822
合 計			15,827,907.94	2,633,938.32	1	2	1,199	2,822

基 金

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。

(単位：百万円)

区 分	現在高		設 置 目 的
文 化 基 金	37		市民文化の振興を図るため
市 庁 舎 整 備 基 金	3,635	(3,540)	市庁舎整備事業に必要な経費に充てるため
財 政 調 整 基 金	3,685		財政の健全な運営に資するため
市 債 管 理 基 金	106,941	(24,700)	市債の償還財源の確保及び市債の適正な管理のため
社 会 福 祉 基 金	122		社会福祉の増進を図るため
地 域 環 境 保 全 基 金	1,013		地域の環境の保全及び創造に資するため
地 下 水 浄 化 事 業 推 進 基 金	16		地下水の水質浄化事業を推進するため
リ サ イ ク ル 等 推 進 基 金	90		廃棄物の減量、再利用及び適正処理を推進するため
緑 と 水 辺 の 基 金	2,734	(2,600)	緑と水辺を生かした快適な都市環境を創造するため
都 市 モ ノ レ ー ル 基 金	599		都市モノレールの更新等に必要な資金を積み立てるため
マ リ ン 基 金	16		QVCマリンフィールドに係る施設の充実及び地域交流の活性化を図るため
美 術 品 等 取 得 基 金	1,022	(400)	美術館に収蔵する美術品等を円滑に取得するため
介 護 給 付 準 備 基 金	1,788		介護保険事業に係る財政の中期的な調整を図るため
競 輪 事 業 基 金	0		競輪場の施設の整備及び競輪事業の健全な運営のため
東 日 本 大 震 災 復 興 基 金	103		東日本大震災からの復興に関する事業の資金に充てるため
教 育 み ら い 夢 基 金	25		夢とおもいやりの心を持ちチャレンジする子どもの育成や学校施設整備等の資金に充てるため
東 日 本 大 震 災 復 興 交 付 金 基 金	2,116		東日本大震災復興特別区域法に規定する復興交付金事業等に必要な経費の財源に充てるため
合 計	123,940	(31,240)	

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるので、合計が一致しない場合があります。

(注) 現在高欄にある()内の額は、基金残高のうち一般会計への貸付分になります。

市債の現在高

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の市税や国庫補助金のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債といますが、これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、生活環境施設の早急な整備も可能となります。

(単位：百万円)

区 分	現在高	借 入 先				
		公 的 資 金				民間等資金
		財政融資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	その他	
一 般 会 計	709,346	65,554	22,052	58,588	145	563,007
特 別 会 計	29,936	3,986	11	2,848	1,721	21,370
市 街 地 再 開 発 事 業	13,309	309	0	0	0	13,000
公 共 用 地 取 得 事 業	6,839	0	0	0	0	6,839
そ の 他	9,788	3,677	11	2,848	1,721	1,531
合 計	739,282	69,540	22,063	61,436	1,866	584,377

(注) 現在高には、市債管理基金積立額は含みません。

(注) 企業会計分の市債の現在高は、P8に掲載しています。

一 時 借 入 金 の 現 在 高

年度途中において支出が収入を上回り、歳計現金に不足を生じた場合に、その不足を補うために、銀行等から予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を一時借入金といい、その状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	予算で定め られた限度額	前期末残高	今 期 中 借入高累計	今 期 中 償還高累計	今期末残高	今 期 中 最高借入額
一般会計	50,000	0	0	0	0	0

Ⅳ 企業会計の下半期の業務状況

平成27年3月31日現在

事業の概況

病院事業

青葉病院及び海浜病院の今期中の入院及び外来患者数の利用総数は、261,473人となっています。

区分	病床数	今期中の患者利用状況				診療科目
		入院患者数	1日平均	外来患者数	1日平均	
青葉病院	380	48,446 (47,054)	266 (259)	99,529 (105,678)	836 (888)	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、感染症内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、救急科
海浜病院	287	38,349 (36,853)	211 (202)	75,149 (70,423)	588 (549)	内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、小児科、小児科(新生児)、外科、消化器外科、整形外科、心臓血管外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

()は前年同期の状況です。

下水道事業

今期中の有収水量は、48,442,354m³となっています。

行政区域内人口	962,554 人	整備区域内人口	936,036 人
下水道処理人口普及率	97.2 %		
接続戸数	420,727 戸	うち今期中増加接続戸数	2,818 戸
接続人口	929,086 人	うち今期中増加接続人口	1,725 人
整備面積	12,261 ha	うち今期中増加整備面積	3 ha
今年度接続助成件数	14 件	うち今期中接続助成件数	11 件

水道事業

今期中の給水量は、2,327,353m³となっています。

計画給水人口	78,100 人	給水区域内人口	56,840 人
給水普及率	82.5 %	うち今期中増加給水戸数	78 戸
給水戸数	18,905 戸	うち今期中減少給水人口	39 人
給水人口	46,894 人		

配水状況

区分	前期中	今期中	計
給水量	2,404,716 m ³ (2,486,896)	2,327,353 m ³ (2,331,005)	4,732,069 m ³ (4,817,901)
有収水量	2,337,437 m ³ (2,375,919)	2,295,726 m ³ (2,320,566)	4,633,163 m ³ (4,696,485)

()は前年同期の状況です。

経理の概況

病院事業、下水道事業及び水道事業の予算執行状況は次のとおりとなっています。

なお、表に使われている収益的収支とは、医療サービス、汚水の処理、水の供給のように経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

病 院 事 業

(単位：百万円)

区 分	予 算 現 額					収 入		支 出	
	当初予算額	補正予算額 (上期)	補正予算額 (下期)	繰越事業 繰越額	計	執行額 (累計)	執行割合 (累計)	執行額 (累計)	執行割合 (累計)
収益的収入	20,786	—	—	—	20,786	18,423	88.6%		
収益的支出	21,737	—	—	—	21,737			20,103	92.5%
資本的収入	1,928	△ 452	826	76	2,378	1,228	51.6%		
資本的支出	3,369	△ 452	—	76	2,993			1,987	66.4%

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

下 水 道 事 業

(単位：百万円)

区 分	予 算 現 額					収 入		支 出	
	当初予算額	補正予算額 (上期)	補正予算額 (下期)	繰越事業 繰越額	計	執行額 (累計)	執行割合 (累計)	執行額 (累計)	執行割合 (累計)
収益的収入	30,641	—	—	—	30,641	30,423	99.3%		
収益的支出	29,569	—	—	—	29,569			28,908	97.8%
資本的収入	15,138	—	211	2,687	18,037	13,615	75.5%		
資本的支出	24,993	—	211	2,697	27,901			23,778	85.2%

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

水 道 事 業

(単位：百万円)

区 分	予 算 現 額					収 入		支 出	
	当初予算額	補正予算額 (上期)	補正予算額 (下期)	繰越事業 繰越額	計	執行額 (累計)	執行割合 (累計)	執行額 (累計)	執行割合 (累計)
収益的収入	2,294	—	—	—	2,294	2,115	92.2%		
収益的支出	2,231	—	—	—	2,231			2,079	93.2%
資本的収入	1,503	—	—	—	1,503	1,456	96.9%		
資本的支出	2,514	—	—	—	2,514			2,398	95.4%

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるので、計欄及び割合が一致しない場合があります。

市債の現在高

(単位：百万円)

企 業 会 計 名	現 在 高	借 入 先			
		公 的 資 金			民 間 等 資 金
		財 政 融 資	旧簡保・旧郵貯	旧公庫・機構	
病 院 事 業	20,130	13,471	1,444	3,511	1,704
下 水 道 事 業	250,874	67,061	43,540	98,622	41,651
水 道 事 業	20,600	13,608	0	5,767	1,226
合 計	291,604	94,140	44,984	107,900	44,581

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるので、合計等が一致しない場合があります。

一時借入金 の 現在高

(単位：百万円)

企 業 会 計 名	予算で定められた限度額	前 期 末 残 高	今 期 中 借 入 高	今 期 中 償 還 高	今 期 末 残 高
病 院 事 業	2,500	300	2,200	2,500	0
下 水 道 事 業	15,000	0	0	0	0
水 道 事 業	1,000	0	0	0	0

(注) 起債前借分については除外しています。

V 平成27年度当初予算の概要

1 編成の基本的考え方

平成27年度予算の編成にあたっての収支見通しでは、歳入において、自主財源の根幹を占める市税が、法人市民税の税率引下げもあり大幅な減収となる見込みであったほか、国庫補助負担金や地方交付税などについては、国の予算編成の動向を見極める必要があったとともに、市債については、健全化判断比率などへの影響を踏まえ、可能な限り抑制する必要がありました。

一方、歳出では、公債費の高止まりや生活保護費などの扶助費の増加が見込まれる中、労務・資材単価の高騰を背景とした事業費の増大や、介護、子育ての分野などで、急速に進展する少子・超高齢社会への的確な対応が求められたため、多額の財政需要が見込まれ、予算編成方針を策定した昨年10月の時点では、厳しい財政見通しとなりました。

そこで、平成27年度当初予算は、次の2項目を予算編成の基本方針とし、取り組むこととしました。

(1) 財政健全化に向けた取組み及び行政改革の推進

財政健全化プラン及び行政改革の取組みを着実に推進するとともに、改善策については、的確に予算に反映させることとし、既成概念にとらわれない大胆な事業の整理・合理化など、徹底した見直しを図ります。

(2) 第2次実施計画（マニフェストに関する取組み事業工程表に基づく事業を含む。）の推進

新たに策定する第2次実施計画の初年度として、事業費の精査を行ったうえで、事業の推進を図ります。

上記の基本方針のほか、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に呼応し、消費喚起や地方活性化のための事業に係る経費を2月補正予算に計上して、平成26年度から27年度にかけて切れ目なく実施します。

2 予算の内容

(1) 予算の規模

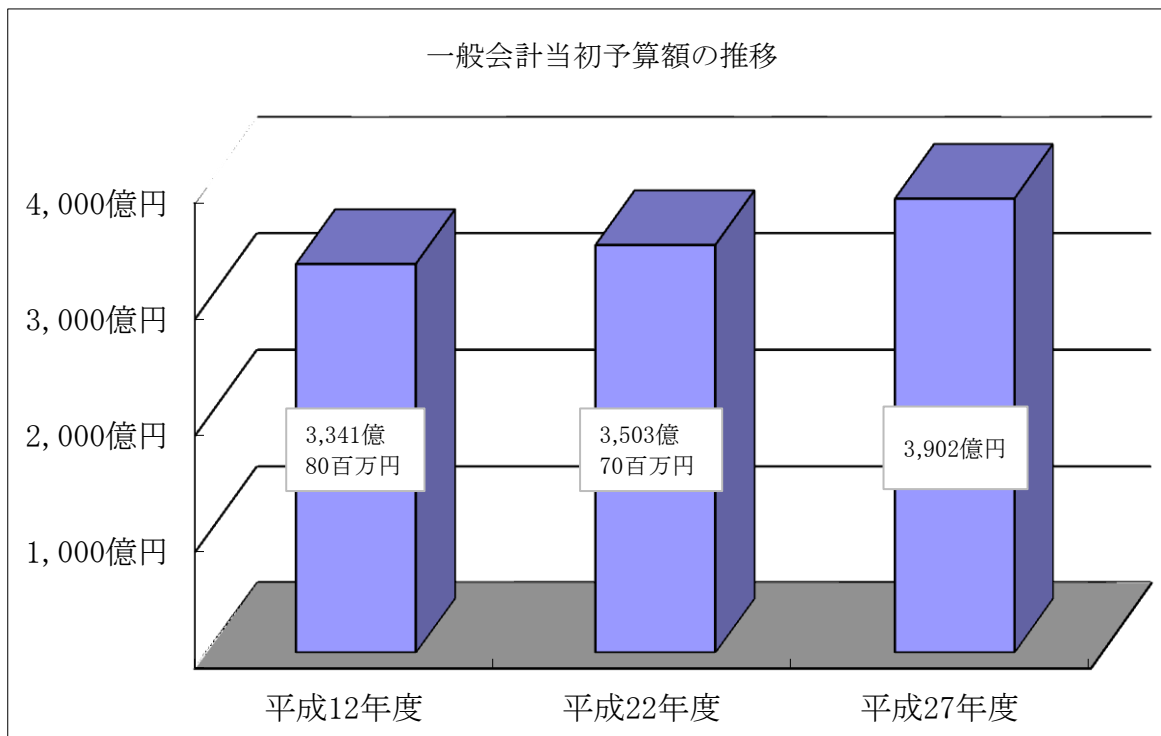
平成26年度	平成27年度
7,987億61百万円	8,561億34百万円
	(対前年度比7.2%増)

特別会計 4,234億 61百万円	特別会計 4,659億 34百万円
一般会計 3,753億円	一般会計 3,902億円

平成27年度一般会計の歳入歳出予算は、3,902億円で、前年度と比較して149億円、4.0%の増となっています。

特別会計（企業会計を含む）17会計は、公債管理会計や国民健康保険事業会計などで増額となることから、総額4,659億34百万円で、前年度と比較して424億73百万円、10.0%の増となっています。

以上、全会計を合わせた規模は、8,561億34百万円で、前年度と比較して573億73百万円、7.2%の増となっています。



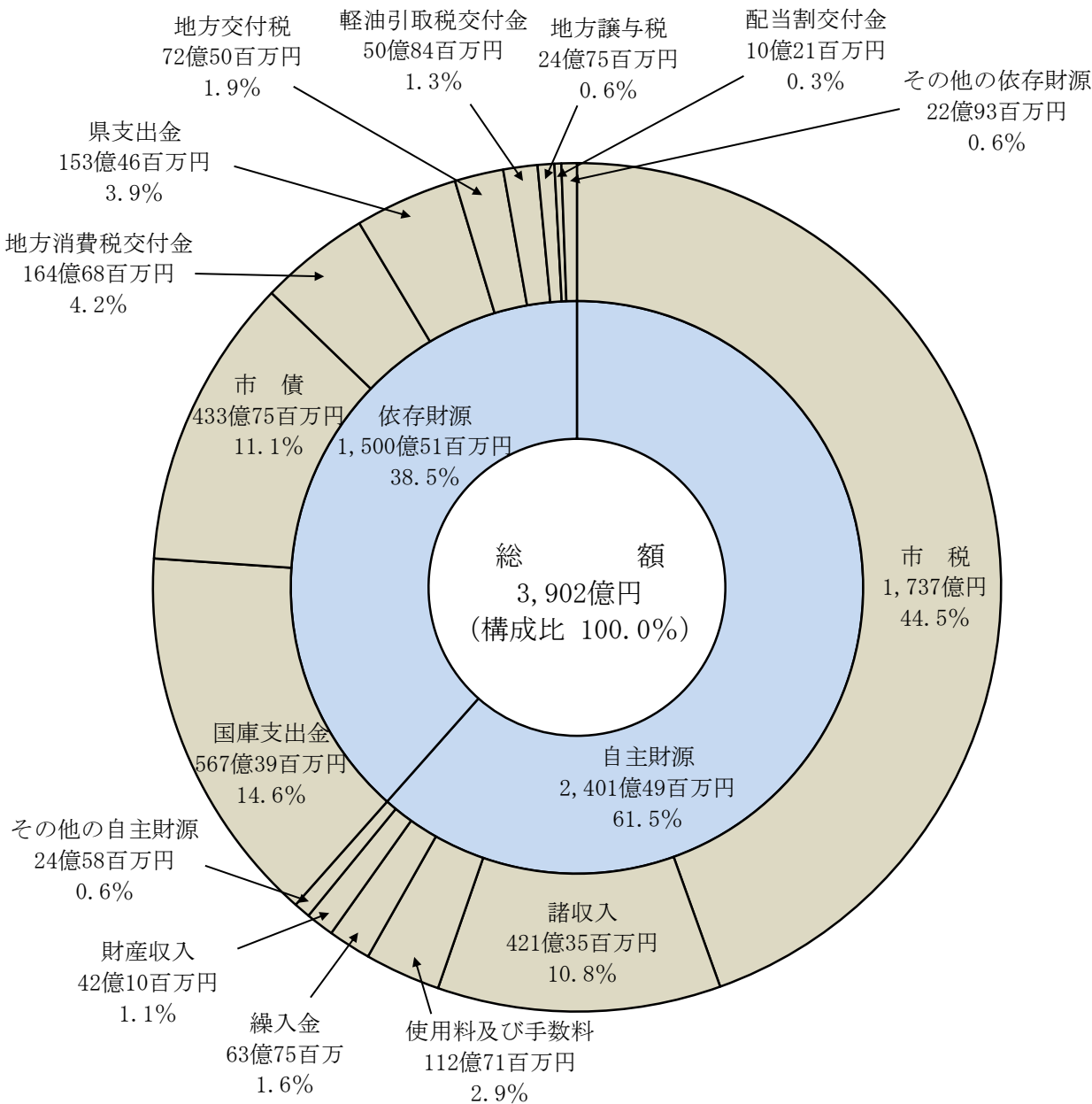
(2) 一般会計予算

(歳入)

歳入予算の主なものとしては、市税が1,737億円、構成比44.5%と、歳入の根幹を成しています。

次いで、国庫支出金が567億39百万円、構成比14.6%となっています。

この他、市債433億75百万円、構成比11.1%、諸収入421億35百万円、構成比10.8%となっており、以下、地方消費税交付金、県支出金、使用料及び手数料、地方交付税の順となっています。



自主財源と依存財源

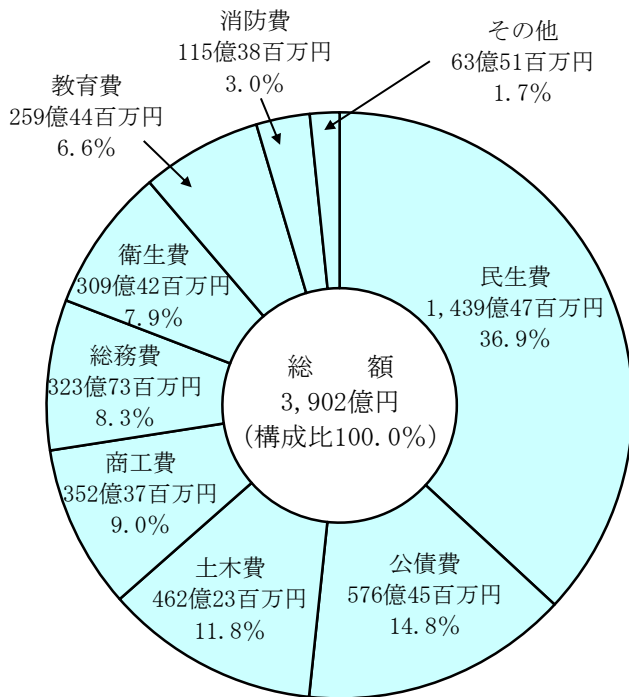
- ・自主財源とは、市税や使用料等のように市が自主的に収入するものです。
- ・依存財源とは、国庫支出金や県支出金、市債等のように国や県の意思決定に基づいて収入されるものです。

市税の主な内訳

税 目	予算額	構成比
市 民 税	822億84百万円	47.4%
固 定 資 産 税	658億31百万円	37.9%
都 市 計 画 税	124億13百万円	7.1%
市 た ば こ 税	71億47百万円	4.1%
事 業 所 税	51億94百万円	3.0%
そ の 他	8億31百万円	0.5%
計	1,737億円	100.0%

(歳 出)

目的別の内訳



歳出予算の主なものとしては、民生費が最も多く、1,439億47百万円、構成比36.9%となっています。

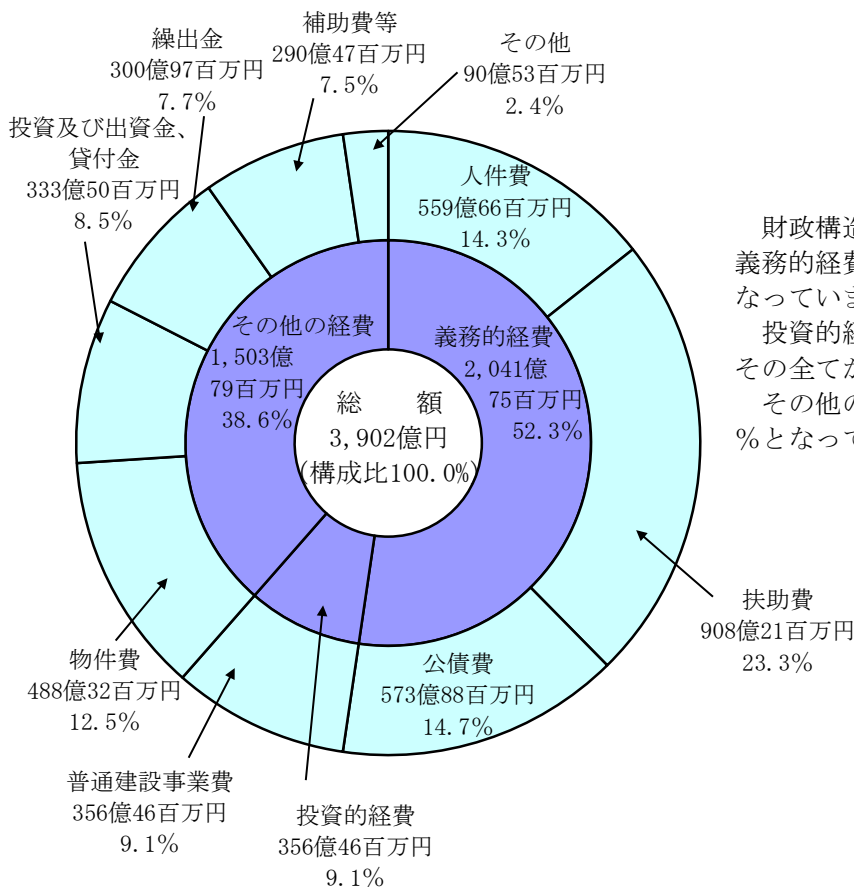
次いで、公債費が576億45百万円、構成比14.8%、土木費が462億23百万円、構成比11.8%、以下、商工費、総務費、衛生費、教育費、消防費の順となっています。

目的別経費と性質別経費

目的別経費とは、どのような行政上の目的のために費やされるかという基準により分類されるもので、議会費、教育費、土木費等をいいます。

性質別経費とは、具体的な行政目的がどのようなものであるかにかかわらず、その経費がどのような性質を有するかという点に着目して分類するもので、人件費、物件費、維持補修費等をいいます。

性質別の内訳



財政構造の面から歳出予算を性質別で見ますと、義務的経費が 2,041億75百万円、構成比52.3%となっています。

投資的経費は、356億46百万円、構成比9.1%で、その全てが普通建設事業費となっています。

その他の経費は、1,503億79百万円、構成比38.6%となっています。

(3) 特別会計予算

平成27年度の企業会計を除く特別会計14会計の予算総額は、3,805億49百万円となっています。

主な会計としては、公債管理が1,753億26百万円、国民健康保険事業が1,109億13百万円、介護保険事業が624億72百万円、競輪事業が133億32百万円となっています。

(単位：百万円)

会 計 名 \ 区 分	平成27年度 当初予算額 (A)	平成26年度 当初予算額 (B)	増減額 (A) - (B) (C)	増減率 (C) / (B) (D)
公 債 管 理	175,326	154,063	21,263	13.8%
国 民 健 康 保 険 事 業	110,913	96,217	14,696	15.3%
介 護 保 険 事 業	62,472	58,037	4,435	7.6%
競 輪 事 業	13,332	12,785	547	4.3%
後 期 高 齢 者 医 療 事 業	8,869	8,875	△ 6	△ 0.1%
学 校 給 食 セ ン タ ー 事 業	2,505	2,508	△ 3	△ 0.1%
動 物 公 園 事 業	1,775	1,159	616	53.0%
市 街 地 再 開 発 事 業	1,373	1,456	△ 83	△ 5.7%
地 方 卸 売 市 場 事 業	971	1,168	△ 197	△ 16.9%
霊 園 事 業	841	806	35	4.3%
公 共 用 地 取 得 事 業	819	657	162	24.7%
都 市 計 画 土 地 区 画 整 理 事 業	533	522	11	2.0%
農 業 集 落 排 水 事 業	501	489	12	2.6%
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業	319	306	13	4.3%
合 計	380,549	339,048	41,501	12.2%

(4) 企業会計予算

平成27年度の企業会計の予算総額は、853億86百万円となっています。

(単位：百万円)

区 分 会 計 名		平成27年度 当初予算額 (A)	平成26年度 当初予算額 (B)	増 減 額 (A)－(B) (C)	増 減 率 (C)／(B) (D)
病 院 事 業		25,726	25,106	620	2.5 %
	収益的支出	21,594	21,737	△ 143	△ 0.7
	資本的支出	4,132	3,369	763	22.7
下 水 道 事 業		55,549	54,562	987	1.8
	収益的支出	29,813	29,569	244	0.8
	資本的支出	25,736	24,993	743	3.0
水 道 事 業		4,110	4,745	△ 635	△ 13.4
	収益的支出	2,185	2,231	△ 46	△ 2.1
	資本的支出	1,925	2,514	△ 589	△ 23.4
合 計		85,386	84,413	972	1.2
	収益的支出	53,592	53,538	54	0.1
	資本的支出	31,794	30,875	918	3.0

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるので計欄、割合及び増減額が一致しない場合があります。

平成27年度の経営方針

病院事業

平成27年度の業務の予定量は、青葉病院が入院患者で110,595人、外来患者で219,736人であり、また海浜病院は入院患者で88,664人、外来患者で168,870人を予定しています。より効果的な運営を行い、地域の中核的な病院として良質な医療の提供に努めていきます。

下水道事業

平成27年度の業務の予定量は、汚水処理世帯数420,290世帯、総処理水量122,920,845³、一日平均処理水量336,194³を予定しています。

より安全で快適な都市環境を実現するため、浸水の防除及び公共用水域の水質の保全、衛生的な生活環境への改善などを着実に推進します。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減と管理の効率化を図り、健全な下水道経営に努めていきます。

水道事業

平成27年度の業務の予定量は、給水戸数19,079戸、総給水量4,963,320³（1日平均給水量13,598³）となっています。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減を図り、効率的な事業経営に努めていきます。

平成27年 6 月

市の財政（財政状況の公表）

平成27年 6 月 1 日発行

編集発行 千葉市財政局財政部財政課

千葉市中央区千葉港 1 番 1 号
電話 043（245）5077

この印刷物は再生紙を使用しています。

※本市の予算・決算など、財政に関するその他の資料については、財政課ホームページをご覧ください。

<http://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/zaisei/index.html>